



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1099

06.04.2024 (135)

ミヒャエル・キューネン (Michael Kühnen)

第二の革命 第一巻：信仰と闘争

第12回

国際主義思想の無意味さは、第一次世界大戦の勃発で証明された。初めて、あらゆる国の労働者が、自分が祖国を持つのは、それに属したいと思うからであることを示したのである。1914年に可視化された労働者の善意と愛国心を拒否し、その結果、戦後、労働者を共産主義者の手に押しやったのは、民主主義者の罪である。国家社会主義とファシズムだけが、労働者に祖国を取り戻させた。それは、労働者が世界大戦の塹壕の中で内心で獲得し、獲得したものであり、それ以来、決して裏切ることはないものだった。

第三帝国時代に反逆を犯したのは労働者ではなく、疑惑の暴君に反抗した民衆でもなく、反動、すなわち貴族、教会、参謀、旧民主・マルクス主義の機能者などの旧支配層であり、ドイツに対する最大の犯罪、第二次世界大戦における裏切りによって帝国の勝利と存続を失わせた責任を負ってい

るのは、この人々である！

国際主義は、少なくとも労働者の態度に関する限り、白人諸国にとってもはや危険ではない。残されたのは、より危険な相手、反動、産業、フリーメイソンのゴールデン・インターナショナルである。人民への裏切りが繰り返されないためには、人民から、そして部分的には民族から異質な要素からなるこの小さな徒党は、人民の体内から排除されなければならないのである。

アリア人の国家共同体という我々の考えの結果として、我々国家社会主義者は、**WUNS**-国家社会主義者の世界連合-という「国際派」も持っているが、世界連合は、国家の存在とその多様性を否定するものではなく、統一的要因、すなわち白人種の生物学的未来のための共通の闘いを求めるものである！

明らかに、歴史的展開は、マルクスが考えていたようには展開しなかった。歴史的・弁証法的唯物論によって科学的に確立された経済と歴史の鉄則は、必ずしも労働者階級の勝利、ひいてはプロレタリアートの独裁に結びつかなかったのである。この事実が、最初の分裂を引き起こした：無政府主義者たちは、バクーニンのもとで、マルクスから離れ、自分たち独自の--そのほとんどが暴力的な--戦略を試した。

同時に、第一インターナショナルの中に、もはや革命ではなく、資本主義体制の中での漸進的な改革を支持する修正主義的なグループが出現したのである。このグループは、後に社会民主主義と労働組合運動を生み出すことになる。

社会民主主義、労働組合運動、共産主義、無政府主義の共通の起源を知ることが、確かに重要である。共産主義者の革命的仮面は、マルクス主義が、フランス革命に始まり、ファシズムと国家社会主義の革命運動を除いて、ほとんどすべての現代思想の背後にある物質主義時代精神の、しばしば不従順ではあるが、それでも自然な分派であるという事実をあまりにもしばしば隠してしまうからだ。これらの出来事は、すでにマルクス主義思想に致命的な打撃を与えたように思われ、第一インターナショナルは解散

し、第二インターナショナルは、すでに社会民主主義に支配されていた。

マルクス主義が現在権力を握っているのは、一人の人物にさかのぼることができます：ウラジーミル・ウリヤノフ・レーニンである。彼は、神聖なマルクス主義の原則を、無節操に、しかし確実に戦術的に放棄し、労働者階級は、明らかにまだ「正しい」意識を持っておらず、それを自力で自動的に獲得することはできないと宣言した。したがって、プロレタリアートの「革命的前衛」が必要であり、それは、その代わりに革命を遂行しなければならないのである。レーニンの偉大な功績は、ボルシェビキ党というプロの革命家の緊密な組織化された党を作り上げたことであり、この党は、未開発で後進的なロシアで実際に権力を掌握したのである-マルクス主義の歴史哲学の嘲笑であり、マルクス主義の権力の発展にとっては勝利である。

労働者階級の前衛としての共産党の構想の論理的帰結は、プロレタリアートの独裁が、共産党の独裁に道を譲らなければならなかったこと、すなわち、資本家と反革命家のごく少数に対する大多数の独裁が、当初計画されていた、職業革命家の小さな集団による公然とテロリストの専制になったことであった。

左派と右派の全体主義国家の間の内部的な対応関係を語るのは、ブルジョア要素のお気に入りの手口であり、次に、外的な類似性-反対派の禁止、政党、行進、国家統制された報道など-に頼ることになります。しかし、この全体主義論が、党の役割を検討するときほど、明確で説得力のある反論をするところはない：

国家社会主義党は、絶対的で無制限の権力を要求するが、それは党独裁を確立するためではなく、真の人民共同体の発展のための枠組みを形成するためであり、それは下から成長しなければならず、上から命令されることはない。国家社会主義人民国家の建設には、人民の熱意と自発的な協力が必要である。このような状況において、党は、主として教育的および宣伝的な任務を有する。その任務は、人民の心をつかみ、世界観の正しさを納得させ、国家の決定を人民に対して説明することである。このことは、1934年の帝国党大会でゲッペルス博士も説明している：

"銃に頼る権力もいかもしれないが、民衆の心を掴み、それを維持することはもっと素晴らしく、もっと喜ばしいことだ!"

たとえば、一見「レーニン主義的」な組織の原則を、現在の禁止期間に適用する必要があるとしても、一つの基本的な事実が残っている：

マルクス主義とは対照的に、国家社会主義の世界観は、その信奉者に勝利の確実性、「必然的な歴史的展開」を提供しない。したがって、国家社会主義とその党は、大衆の自発的な同意を必要とし、共産主義モデルの党による力による支配の余地を残さない！労働者運動の継承者として、また同時に労働者運動の一部として、われわれ国家社会主義者は、この労働者運動がマルクス主義に由来し、われわれの運動の出現まで、共産主義または（社会）民主主義と密接な関係にあったという事実を直視しなければならない。したがって、ブルジョア民族主義者-反動主義者-が好んで行うように、何百万人もの誠実な労働者を頭ごなしに非難することは有害無益である。ドイツ労働者運動の闘争意欲と団結は、わが民族の物質的生活基盤の改善に大いに貢献してきた。また、労働者の利益を代表し、働かない者や楽な所得をなくし、その結果、一般の人々に、大物--産業界、統一労働組合、政党のいずれを代表して発言しても--に従うのではなく、人民自身から生まれ、彼らと結びついたままの者、ドイツ自由運動の闘士に従うべきことを納得させることが我々の伝統でなければならない！

マルクス主義イデオロギーの失敗とその満たされない予言は、改良と適応のための新たな試みにつながっている：正統派共産主義、レーニン主義、スターリン主義、毛沢東主義、チトー主義、トロツキー主義、無政府共産主義、ユーロコミニズム、民族共産主義などは、異なる潮流の一部に過ぎません。世界共産主義運動の統一は、絶望的に破壊されている。マルクスの信奉者たちは、共産主義への正しい道をめぐる論争で、完全に対立している。

思想としてのマルクス主義は、もはや知的な代替物ではない。その人気は、資本主義の不正義に対する闘争と、その明白な革命的態度によってのみ説明することができる。資本主義批判と革命の両分野において、われわ

れ国家社会主義者は、より明確な思想と、より誠実な決意を持っている。他の選択肢を見いだせず、共産主義グループに参加した若い理想主義者を悪者扱いすることは、もはや我々の仕事ではない。

私たちは、若く、絶望的で、誤った方向に進んでいる人々に祖国への信頼を取り戻させ、革命を信じ続けさせなければなりません。我々の革命は、テロや抑圧ではなく、我々の革命は、我々のヴォルキッシュの歴史の良き伝統を利用して、明日の課題に取り組む精神的な激動なのである。

ドイツの自由運動は、マルクス主義イデオロギーとその機能家に対する無慈悲な闘争と、それらの最終的な破壊を宣言する。反対側の革命的闘士に、我々は和解の手を差し出す-我々の人々の利益のため、善のためである。FRGだけでも4つの共産党-DKP、KPD、KPD-ML、KBW-と、我々の最も危険な敵である大衆共産主義運動-共産主義者同盟、KB、その他無数の左派集団がある。彼らがすべて正しいということはありません。

しかし、国民を愛し、社会正義を創造し、自由主義・資本主義体制に対する革命的な、つまり、正直で根本的な反対を築きたいと願うすべての人が集まることができる民族社会主義政党は、NSDAPしかない。何はともあれ、マルクス主義を過小評価するのは間違いである。少なくとも、唯一の有効な対抗勢力が民主党によって妨害され禁止されている限り、マルクス主義は今日でも現実の危険をもたらしている。DKPの選挙での得票数の少なさを指摘し、安心して眠りにつくのは、単に愚かなことです。マルクス主義者は、我々と同様に、白人世界全域で拡大する自由主義・資本主義システムの危機から利益を得るだろうが、その場合、革命的右派の数十年にわたる弾圧のおかげで、組織的・政治的にはるかに優れたスタート位置を得ることになる。

ポルトガルとスペインには強力な共産主義政党があり、NATO諸国であるイタリアとフランス（ECの一部でもある）では、現在でも権力の門を叩いているほどである。DKPは、小さいながらも非常によく組織された幹部運動であり、巧みな同盟政策のおかげで、選挙での低い成功率からは想像できないほどの影響力を獲得している。外国人労働者とその家族からなる

新興プロレタリアートでは、外国人共産党の勢力が拡大しており、同胞の資本主義的搾取に反対している。しかし、その背後には、東欧圏の巨大な軍事装置、超大国ソ連の権力政治的な重みがある。超大国ソ連の重みと、1918年以来、共産党の世界革命努力の指針となってきたレーニンの見識。

世界革命の鍵は、マルクスとエンゲルスの生誕地であるドイツにある。ドイツが倒れれば、ヨーロッパも倒れる。しかし、ヨーロッパが倒れれば、世界革命の勝利は近い！1918年以来、ドイツはマルクス主義からヨーロッパを守ってきた：

まず、ソビエト連邦における民族の自由のための闘いを促進することで、とりわけ帝国政府によるウクライナ独立国家の承認を通じて、スパルタシストの蜂起から赤のルール軍に至るまで、共産主義者の破壊工作のすべての試みをフライコルプスによって弾圧し、第三帝国時代には、反コミンテルン条約と1941年のソ連に対するヨーロッパの聖戦を通じて、そのようなことを行った。

第二次世界大戦の東部戦線での戦いは、ヨーロッパの自由への戦いであったことが、いつも忘れられている。ドイツの最高司令官のもとに、これほど強大な国際軍事力が存在したことは、かつてなかったことである：

イタリア、フィンランド、バルト三国、ハンガリー、ルーマニア、スロバキア、クロアチアの政府と軍隊は大ドイツ帝国側で、スペインは青師団（法王派の志願兵）、フランスはLFV（Legion des Volontaires Francaises - Voluntary French Legion）を派遣した、ヴァッフェン＝SSの隊列には、フランドル、ワロン、デンマーク、ノルウェー、オランダなどの兵士が含まれており、彼らは自国の閉鎖的な部隊（すべて志願兵）を戦線に送り込んだ（LVFも後にヴァッフェン＝SSに編入されることになる）。

しかし、他のあらゆる国からも志願者が集まり、最終的にはモハメッド人やインド人までもがヴァッフェンSSの部隊を編成し、1945年には100万人強の生存兵士の中に75万人の外国人を数えた。ロシア人であっても、ROA（ロシア自由軍）のブラソフ将軍のもと、自らの指揮下で共産主義者と戦い、国民党の武装部隊や国防軍の100万人以上のロシア人補助兵（Hiwis）

も同様である。そしてこれは、確かに賢明でない、非常に厳しい占領政策にもかかわらず、である。

これは、民主主義者とボリシェヴィストと一緒に粉砕した統一ヨーロッパを予期したものでした。それはまた、私たちが夢見たアーリア人の国家共同体を実現する可能性を証明するものでもあった！ベルリンの総統地下壕を最後に守ったのが、陥落の混乱の中で頼りになった部隊、ヒトラーユーゲントやフランス人志願兵だったのは、偶然ではなく歴史の象徴である！

原爆の存在だけが、民主主義者の内なる力でも外なる力でもなく、ヨーロッパを再び完全な奴隷化から救った。しかし、今や抵抗する力は尽きてしまったようだ。東方との恥ずべき条約から始まった分割降伏政策によって、民主主義者たちは、自分たちに猶予期間を与えようとしている。自由資本主義体制の打破がなければ、今世紀末には西ヨーロッパが共産主義化するか、共産主義の影響下に置かれる可能性が非常に高い。この運命はまだ回避することができる。東方への抵抗は可能であり、共産主義の勝利は不可避ではない。

内部的には体制の不正と矛盾を解消し、国民のあらゆる力を結集し、外部的には東欧圏の危機と問題を決定的に利用する政策。このような政策によって、我々は速やかに主導権を取り戻し、1945年のラジオでの最後の演説でアドルフ・ヒトラーがこのように述べた義務を再び果たすことができる：

「この闘いにおいても、勝利するのはインナー・アジアではなく、ヨーロッパであり、2000年にわたりヨーロッパを代表して東洋に対抗し、将来もそうあり続ける国家、すなわち大ドイツ帝国、ドイツ国家である。」

戦争はまだ終わっていない。マルクス主義と国家社会主義の間の世界史的な闘いは続いている。しかし、今、新しい世代が、過去の過ちを繰り返さないことを決意し、それでもなお、父祖の英雄的な闘いにふさわしいことを証明しようと、闘争に参加している。自由と国家が、

私的な幸福やブルジョア生活よりも重要であると考える白人がいる限り、国家社会主義者は存在する。そして、ボルシェビズムという人質が地球上から一掃されるまで、我々は休むことはない！この目的への道のりは長く、多くの人が、武器に強く、不屈に見える東洋の力を前にして、成功する可能性を疑っている。しかし、我々は、マルクス主義者の勝利の宣伝と民主主義者の降伏のムードに誘惑され、欺かれて、敵の強さに呪縛されたかのように見えてはならず、冷徹に、偏見なしに共産主義の支配体制の弱点を分析することを学ばなければならない。

それぞれ単独ではシステムを破壊するほどの弱点があるが、一緒になると、ロシアのシステム評論家アンドレイ・アマリクがエッセイ『ソ連は1985年を生き残れるか？-』というエッセイの中で、ロシアのシステム評論家アンドレイ・アマリクが述べているように、長い目で見れば、それらは致命的なものにならざるを得ないだろうと考えている。以下は、その最も重要なポイントである：

マルクス主義計画経済の失敗。

党による国民への弾圧。

国籍の問題。

東欧諸国への弾圧。

この大きな弱点を突いてくる断固とした相手なら、ソ連をとんでもない困難に陥れることができる。これに加え、中国のカードがある。

「毛沢東思想」は、中国人が毛沢東共産主義を特徴的に呼ぶように、私たちにしばしば理解しがたいものである。いずれにせよ、毛沢東思想はヨーロッパにとって脅威ではない：

それは、戦後の発展に従ってマルクス主義の上部構造を接ぎ木した、一種の中国ファシズムとさえ理解できる（同様のことは、スカルノ政権下のインドネシア、ペロン政権下のアルゼンチン、ナセル政権下のエジプトなど、他の国々にも当てはまる）。PRCのほかに、東欧圏の野党はわれわれの自然な味方である。

戦後、西ドイツは、自由を求めて闘う多くの亡命組織を受け入れており、その闘いは私たちの同情と支援に値する。もちろん、戦友やかつての同盟国は、私たちにとって特に身近な存在です：

ハンガリー、ルーマニア、そして何よりもクロアチア人は、共産主義の奴隷になることを決してあきらめませんでした。古い友情の絆によって、われわれドイツの自由戦士は、エストニア人、ラトビア人、リトアニア人といったバルト民族と、国家としての存在そのものが脅かされているウクライナ人の運命に内心関心を持つことができる。しかし、我々ドイツ国家社会主義者は、東欧の他のすべての人々に友好の手を差し伸べる！スラヴ人とゲルマン人が共通の敵に対抗するために、白人世界の最も重要で強力な2つの民族の間には、和解が、まさに同盟が必要なのである。

その前提条件は、何世紀にもわたる国境線の尊重、すなわち、ドイツ帝国の元の東部諸州の返還である。この権利の承認は、かつての同盟国にとって難しいことではないだろうが、かつて西側に傾いていた人々、とりわけポーランド人とチェコ人ですら、民主主義者からの援助や支援は期待できないという教訓を学んだことだろう。私たちドイツ人にとって、マルクス主義との闘いは、祖国の分裂との闘いをも含んでいる。マルクス主義の破壊なくして、ソ連指導部が、かつて真の政治家であったスターリンのように、対ドイツ政策を完全に変更しない限り、ドイツの新しい統一は不可能と思われる。したがって、われわれの目標は、いかなる場合にも、西ヨーロッパとの完全な融合であってはならないし、そうであってはならないのである！

ドイツが東と西の間に位置する中心的な立場は、常に悲劇であると同時に、我々の歴史の偉大さでもある。ドイツは東にも西にも属さず、その中心からヨーロッパ全体を統一し、形成するという歴史的な任務を担っているのです。以前にも述べたように、私たちはローマ帝国の遺産を受け継いでいるのです。この義務から免れることはできない：

それは、われわれの自己犠牲であり、したがって、ドイツ民族の終わ

りである。オクシデンタル思想の偉大な遺産、帝国という古い思想は、東西の唯物論と執拗に闘い、したがってヨーロッパの自由のために闘うことを我々に義務付けている！



NS KAMPFRUF
KAMPFSPRITZ UND NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFFBAUORGANISATION

September 1934 Ausgabe 1273 26. April 2017 02.00

Der Kampf geht weiter !

Wahing Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung wieder aktiv als je zuvor in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Mitglieder von Massenmord, Verbrechen, Völkermord und Verbrechen haben nicht angehalten, das Kreuz des goldenen Hakenkreuzes hoch gehenden Führer Adolf Hitler zu entdecken.

Alle Nationalsozialisten sind weniger gefährliche Täter und Kameraden sondern Schurke an Schurke im Kampf um die Erlangung neuer weltweiter Führer. Die Bewegung ist zwar wieder geworden, aber die Größe des hochgelobten Volkstums ist keine noch viel größer als in der Vergangenheit.

Die vorerwähnte Situation ist schon dabei, das Volkstum - gegen alle wissen Täter (V) - zu begreifen. Keine Mittel und Eisenbahnen, Überflutung und Kameradenbewegung.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Massenmord, ob im Propagandakrieg weltweit oder auf einem Schlachtfeld anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hail Hitler!
Gottard Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!



N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)

NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー
第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような活動が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主に Adolf Hitler and the Army of Mankind (www.movingtheancient.com/truth.htm)に集中して取り組んでいます。現在2ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の戦後は、まさに情報の増量期です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




the NEW ORDER
Number 176 (132) Founded 1978 April 26, 2021 (132)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much-loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware conservatives and racial thinkers fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture dilution, and race-mixing.

Whether "legal" or "illegal", whether in election halls or street battles, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hail Hitler!
Gottard Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト



SS Defender against Bolshevism
by Reichsführer SS Heinrich Himmler
FOR DANMARK! MOD BOLSEVISMEN!

The Poisonous Mushroom
Translated from the Third Reich Original
Der Giftpilz

Hitler in Italy
Hitler in ITALIEN
English / German Deutsch / English

SS Viewpoint - Vol. 9
Wife and Family

The Sins of High Finance
Theodor Fritsch

Luftwaffe War Art
Die Luftwaffe im BOD
English - German / Deutsch - English

BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org
Contact us to find out how YOU can help!